

ナシ類の生育は、平年と比べて10～12日早い状況となっています。南水では、4月の低温・凍霜害により中野市管内で被害が見られる園地があります。そのため、結実不良が心配される園地では生産量確保のため、予備摘果などは行わず果実の素質がハッキリしたところで管理作業を行って下さい。

## 年度別の南水開花始め状況（調査地点：田麦沖）

年度	平年	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
開花日	4/22	4/26	4/25	4/13	4/21	4/10

## 和梨の定期防除（収穫中の作物への飛散に注意する）

◆ 散布日：5月 日  
◆ 散布量： リットル

散布時期	5/10～15頃（目安となります）	
散布薬剤	水	1000 当り
	展着剤（ハイテンパワー）	10 ml
	トレノックスフロアブル	200 ml（30日前、5回）
	トランスフォームフロアブル	50 ml（前日、3回）
対象病害虫	黒斑病、黒星病、赤星病、アブラムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10アール当り：350 リットル	
注意事項	① 葉色が薄い場合や黄化が見られる園は、ビッグマグ 1,000 倍 又はグリーンデイズ 1,000 倍を加用する。	

次回特報（和梨） 発行予定日：5月17日  
5月下旬の薬剤散布について  
散布日目安：5月25～30日頃

\*葉面散布・・・定期散布時に農薬と混用が可能です。（混用は最後です）

資材名	成分量	目的	倍率	使用時期	規格
ビッグマグ	水溶性苦土 23%	苦土補給 葉の健全化	1,000 倍	開花期～6回	1kg
液体硫酸マンガン	水溶性マンガン 13.5%	マンガン補給 葉の健全化	200 倍	落花30日後 落花40日後の2回	1kg
グリーンデイズ	水溶性苦土 16% 水溶性マンガン 9.0% 水溶性ほう素 2.5%	苦土等補給 葉の健全化 品質向上他	1,000 倍	前回定期散布～3回	1kg

◆ 西洋梨の定期防除、注意事項は次面をご覧ください。



## 西洋梨の定期防除 (収穫中の作物への飛散に注意する)

全域で腐らん病が早期多発傾向です。

梅雨期間の感染拡大を予防するため、病斑部の削り取り処理等を早めに進めてください。

### 5月中旬の薬剤散布 (前回より約15日後)

散布時期	5/10～15 頃 (目安となります)	◆ 散布日：5月 日
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤 (ハイテンパワー) 10ml トランスフォームフロアブル 50ml (前日、3回) ジマンダイセン水和剤 200g (30日前、5回)	◆ 散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、アブラムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10アール当り：400 リットル	
注意事項	①【代替】トランスフォームフロアブルに代えてコルト顆粒水和剤 4000 倍 (前日、3回) でもよい。	

## 西洋梨の定期防除

### 5月下旬の薬剤散布

散布時期	無袋：5/20～25 頃 (前回から 10 日後) 有袋：5/25～30 頃 (前回から 15 日後)	散布日：5月 日
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤 (ハイテンパワー) 10ml 劇 ダーズバンDF 33g (30日前、3回) キノンドー顆粒水和剤 100g (3日前、9回)	散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ	
散布量	10a 当り 500 リットル	
注意事項	① <b>カイガラムシ類対策</b> アプロードフロアブルの 1,000 倍 (30 日前、2 回) を加用する。 ② <b>カメムシ対策</b> ダーズバン DF に代えて、アルバリン顆粒水溶剤の 2,000 倍 (前日、3 回) を使用する。	

次回特報 (西洋梨) 発行予定日：5月17日

6月上旬の薬剤散布について

散布日目安 無袋：6月1～5日頃

